

平成23年6月18日
城西大学水田美術館建設記念シンポジウム

浮世絵版画の色彩表現

学習院大学教授・千葉市美術館館長 小林 忠

浮世絵版画の展開

墨摺絵
丹絵
紅絵・漆絵
紅摺絵
水絵
錦絵
摺物

錦絵の誕生

絵暦（大小）交換会の流行
俳諧好きの好事家たち
「巨川」こと大久保甚四郎忠舒（旗本、1600石）
「莎鷄」阿倍八之丞正寛（旗本、1000石）
「小松屋百亀」こと飯田町の薬屋
「吾妻（東）錦絵」
命名は平賀源内か

空の青、水の青

露草
本藍
ベロ藍

春信の青い空
豊春の浮絵と眼鏡絵の空一文字
北斎、広重らのベロ藍のぼかし摺り

歌麿の紫

赤と藍による混色
藍の退色による変色
ボストン美術館ス波尔ディング・コレクション 「浮世絵の正倉院」

空摺り

春信の効果的な使用 空摺りときめ出し
歌麿の人肌表現
摺物に見る精緻さの演出